

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(2021.04.01)

文：武田、写真：倉谷、山 國

日時：2021(令和3)年 4月 1日(木) 9:30～15:30

気象：晴

活動エリア：45林班に-03

活動内容：枯損木・過密広葉樹の除伐と林床整備

(体験参加者は午前中活動地一帯を案内、午後は除伐や林床整備に参加)

参加者：猪川 誠、内海宏一、斧田一陽、倉谷邦雄、河野直子、武田壽夫、中村賢三、宮本 廣、

山田真也、山 國

体験：園山靖枝

会員10名+体験1名=計11名

<新入生・新入社員の皆さんに「おめでとう」のエールを>

森林づくりも新年度のスタート。林間にはヤマザクラにヤマツツジ、ツバキ、ヒサカキと満開の花々の笑顔。空からはコゲラ、ヤマガラ、シジュウガラ、カケスにウグイスと、いろんな囀りが降ってくる。昨年までは少なかったが、この賑やかさは広葉樹の除伐などで森が明るさを増し、鳥類の楽園化が進んだものか ⇒長年の森林づくりの成果？、鳥の名は河野会員のご教示

今日の作業は45林班に-03の天然林で枯損木・過密広葉樹の除伐と林床整備。尾根の西側には、帯状に密生してひよろ長く伸びた広葉樹に高いマツの枯木が散見される。枯損木はチェーンソー、広葉樹は日差しが入るよう選びながら鋸で除伐。勿論、玉切り、棚積みの後処理は忘れずに。

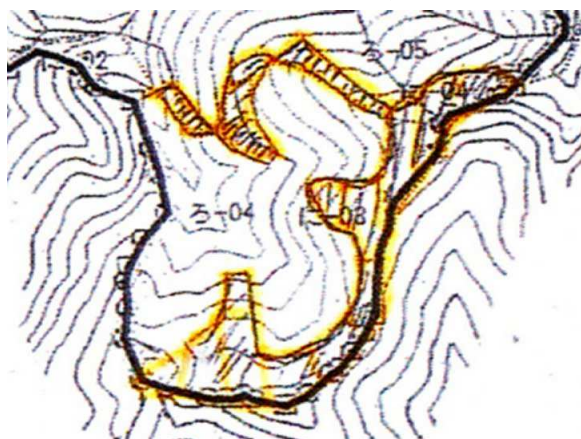
<今日の成果>

チェーンソーの奮闘もあり 30×70m=0.14ha と整備は大いに捗る。足元が緩傾斜地なのも助かる。枯損木は30本以上を玉切り処理。なお、この活動地は標高350m程。物置小屋に帰るには登り150m近くあり、疲れた身体に堪える急坂が続く(毎度の"ヤレヤレ")。

***お知らせ：コロナ対策を踏まえ4月18日(日)の活動は休止します**

<写真編①>

【活動地要図(45林班)】



【満開のツツジ(コバノミツバツツジ?)】



<写真編②>

【作業前の活動地(広葉樹林にマツの枯木)】



【除伐作業中】



【倒した木は枝払いして棚積み】



【除伐した枯損木を玉切り中】



【玉切りして路肩に棚積み一運ぶのも大仕事】



【鮮やかなツバキ(ヤブツバキ?)の紅】

